

Additive Manufacturing技術を活用した産業用ロボット拡張部品の軽量化に関する研究

真所, 最

<https://hdl.handle.net/2324/7182420>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	真所 最			
論 文 名	Additive Manufacturing技術を活用した産業用ロボット拡張部品の軽量化に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	後藤 浩二
	副 査	九州大学	教授	柳原 大輔
	副 査	九州大学	教授	津守 不二夫
	副 査	熊本大学	教授	寺崎 秀紀

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、ジェネレーティブデザインおよび積層造形（AM）技術を活用することで、ロボットアーム延長部材を例に部材軽量化に資する設計と製造が可能であることを示すと共に、これら技術の現状が有する課題を明確化したものであり、設計工学及び生産工学分野について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。